

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90226	民俗芸能論研究	4単位 通年	1・2	講義	久万田 晋

■テーマ

日本・沖縄の民俗芸能研究を学説史的に検討する。

■授業の概要

沖縄の民俗芸能を、民俗文化全体にわたる視野の中で把握するために、日本・沖縄の民俗芸能研究を学説史的に検討する。あわせて県内の祭祀・民俗芸能に関するフィールドワークを行い、人々の生活との関わり、音楽・舞踊・演劇・文学的的局面等、総合的な観点からの理解を目指し、共同研究を行う。

■到達目標

- ・沖縄各地の民俗芸能の様態を、各地の社会状況や近現代史における変遷を含めて把握する。
- ・それと同時に古典芸能、大衆芸能との相互関連性についての理解を得る。

■授業計画・方法

(前期)

- 1～5. 文献購読 基本概念、分類、成立史
- 6～10. 日本本土の民俗芸能の概説 神楽、田楽、風流、その他
- 11～15. 沖縄・奄美の民俗芸能の概説 神祭り、臼太鼓、エイサー、村踊り等

(後期)

- 16～20. 沖縄・奄美の民俗芸能の展開 地域各論
- 21～25. 民俗芸能の現代的展開 イベント・創作芸能、海外への展開
- 26～30. 受講生のレポートに向けての発表と質疑応答

定期試験は実施しない。(定期試験を実施しない場合)

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・沖縄文化や琉球芸能全般に関する基礎知識を持つことが望ましい。

■成績評価の方法・基準

- 方法 日頃の出席状況・授業態度にレポートの採点を加味して評価する。
- 基準 「到達目標」を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。
芸術文化学研究科(博士課程)の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献(資料)等

参考文献

久万田晋『沖縄の民俗芸能論 -神祭り、臼太鼓からエイサーまで-』(ボーダーインク、2011年)